

家計調査報告

1 家計調査にみる品目別都道府県庁所在市別ランキング（高知市）

平成24年平均

総務省が平成25年4月にまとめた「家計調査にみる品目別支出金額及び購入数量の都道府県庁所在市別ランキング（二人以上の世帯を集計）」では、高知市（86世帯）の消費の特徴は以下のとおりです。

（1）「かつお」の購入量は、37年間連続全国1位

〈高知県の魚〉に制定されている「かつお」の1世帯当たりの年間購入量は5,053gで全国平均919gの約5.5倍と、昭和51年から37年間連続で全国1位を続けています。また、年間支出額も9,378円で、全国平均1,391円の約6.7倍となっています。

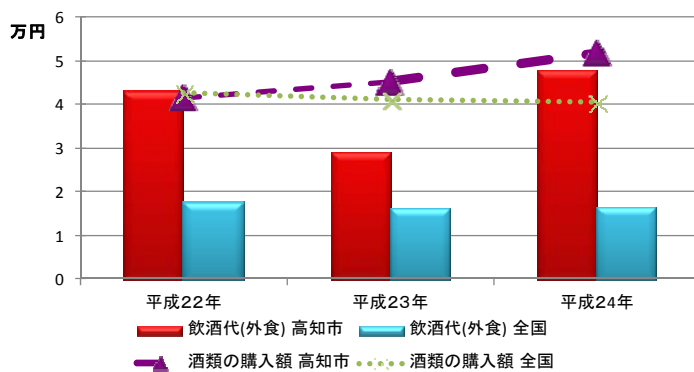
（2）飲酒代(外食)全国1位

「飲酒代(外食)」の年間支出金額は、47,928円で平成21年から4年連続で全国1位となっています。

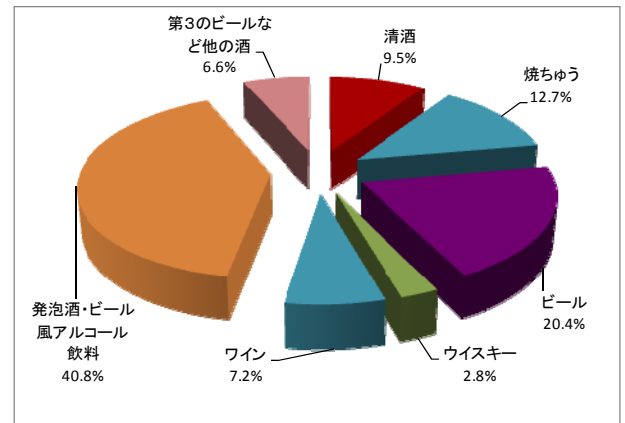
一方、家庭での「酒類」の購入も51,796円で5位と平成23年の10位からランキングアップしています。

なお、平成24年の酒類購入額の多いのは発泡酒・ビール風アルコール飲料(40.8%)で、次にビール(20.4%)、焼酎(12.7%)、清酒(9.5%)の順となっています。

飲酒代(外食)と酒類の購入額推移



平成24年酒類購入額内訳(高知市)



（3）その他の年間支出金額

①食料関係

小夏・文旦等の「他の柑きつ類」、「チョコレート菓子」、「乳飲料」、「惣菜材料セット」が全国1位。「はくさい漬」、「つゆ・たれ」、「冷凍食品」「お好み焼等の主食的調理食品」が全国2位。「しらす干し」、「弁当」が全国3位となっています。

②食料以外

被服及び履物では「仕立代」が全国2位。交通・通信では「携帯電話通信料」が全国1位となっています。

※ 調査結果について

家計調査は、全国の世帯の実態を調べるために調査設計されていますので、標本数に限りがあります。今回の結果は、貴重なデータですが標本誤差もあり、「高知市全体の家計収支の平均」と考えずに、家計収支の動きの参考値としてご利用をお願いいたします。

家計調査にみる高知市の品目別支出額ランキング（平成24年）

区 分	支出金額の多い品目（1～5位）	支出金額の少ない品目（50～51位）
食 料	かつお 1位	かれい 50位
	他の柑きつ類（小夏・文旦等） 1位	ハム 50位
	チョコレート菓子 1位	酢 50位
	乳飲料 1位	他の根菜 50位
	惣菜材料セット 1位	なす 50位
	発泡酒・ビール風アルコール飲料 1位	乾うどん・そば 51位
	飲酒代 1位	鮭 51位
	はくさい漬 2位	さしみ盛合わせ 51位
	つゆ・たれ 2位	かき 51位
	他の主食的調理食品 2位	
	冷凍調理食品 2位	
	しらす干し 3位	
	弁当 3位	
	鰹節・削り節 4位	
	魚肉練製品 5位	
交通・通信	移動電話通信料 1位	
	移動電話 2位	
	自動車等関連用品 3位	
被服及び履物	仕立代 2位	帽子 50位
	被服賃借料 2位	ネクタイ 50位
	婦人用帯 4位	背広服 50位
	子供用セーター 4位	他の婦人用下着 51位
	運動靴 4位	
その他	パーマメント代 1位	旅行用かばん 50位
	他の教養娯楽用耐久財 1位	切り花 50位
	雑誌・週刊誌 1位	外国パック旅行費 50位
	乳液 2位	ポリ袋・ラップ 50位
	仕送り金 2位	台所・住居用洗剤 50位
	他の印刷物 2位	
	感冒薬 2位	
	殺虫・防虫剤 2位	
	化粧水 3位	
	保育所費用 3位	
	国内遊学仕送り金 3位	
	ファンデーション 4位	
	眼鏡 4位	
	シャンプー 5位	
胃腸薬 5位		

* 都道府県庁所在市（47市区）と川崎市・浜松市・堺市・北九州市をあわせた51市区の順位

2 家計調査にみる貯蓄・負債現在高（高知市）

平成24年平均

総務省が平成25年8月にまとめた家計調査報告（貯蓄・負債編）では、高知市の貯蓄・負債の状況は以下のとおりです。

（1）二人以上世帯の状況

高知市の調査結果（二人以上の世帯86世帯）は、平均世帯人員3.11人、平均有業人員1.44人、世帯主の平均年齢53.3歳、持家率70.1%となっています。

① 平均貯蓄現在高は1,428万円(全国1,658万円)

1世帯当たりの貯蓄現在高は、平成23年平均の1,543万円に対し、1,428万円と減少しています。

貯蓄の種類別にみると、定期性預貯金が672万円（貯蓄現在高に占める割合47.1%）と最も多く、次いで生命保険など333万円（同23.3%）、有価証券204万円（同14.3%）、通貨性預貯金189万円（同13.2%）、金融機関外30万円（同2.1%）となっています。

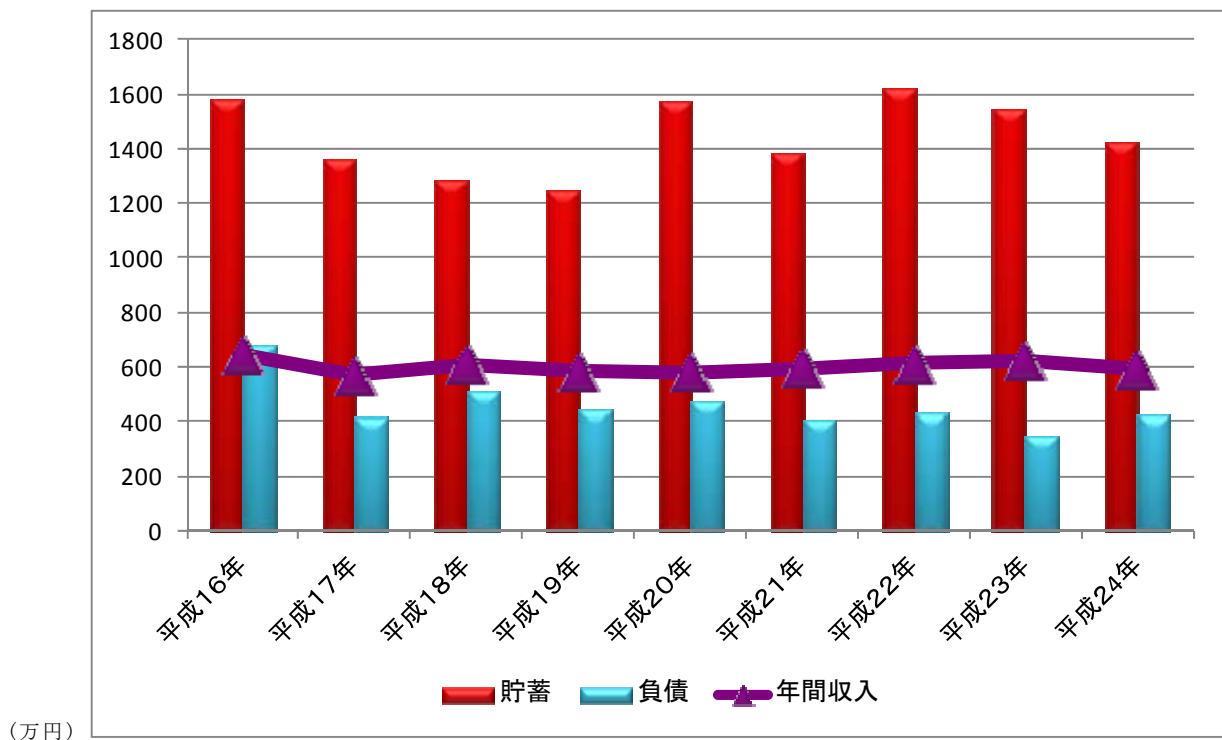
年間収入は592万円で、貯蓄年収比（貯蓄現在高の年間収入に対する比）は、241.2%で、貯蓄現在高は年間収入の約2.4倍となっています。

② 平均負債現在高は418万円(全国469万円)

1世帯当たりの負債現在高は、平成23年平均348万円に対し418万円と増加しています。

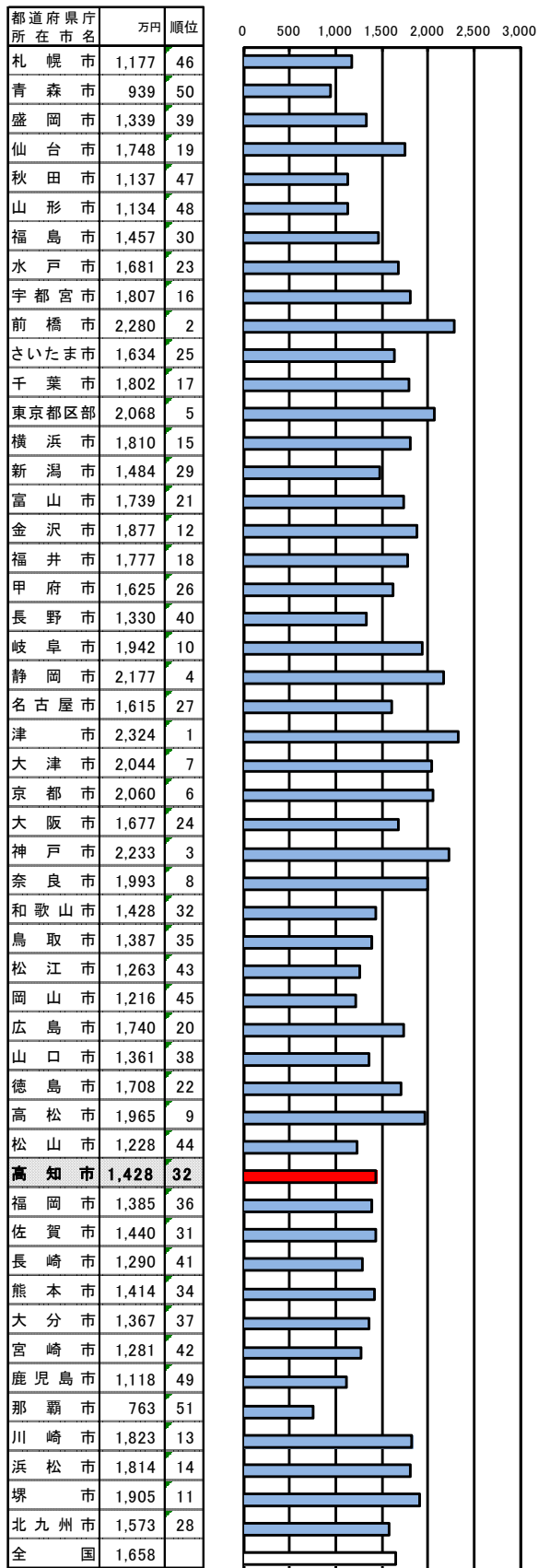
負債の種類別にみると、住宅・土地のための負債が368万円（負債現在高に占める割合88%）と最も多くなっています。

貯蓄・負債現在高の推移（二人以上の世帯）

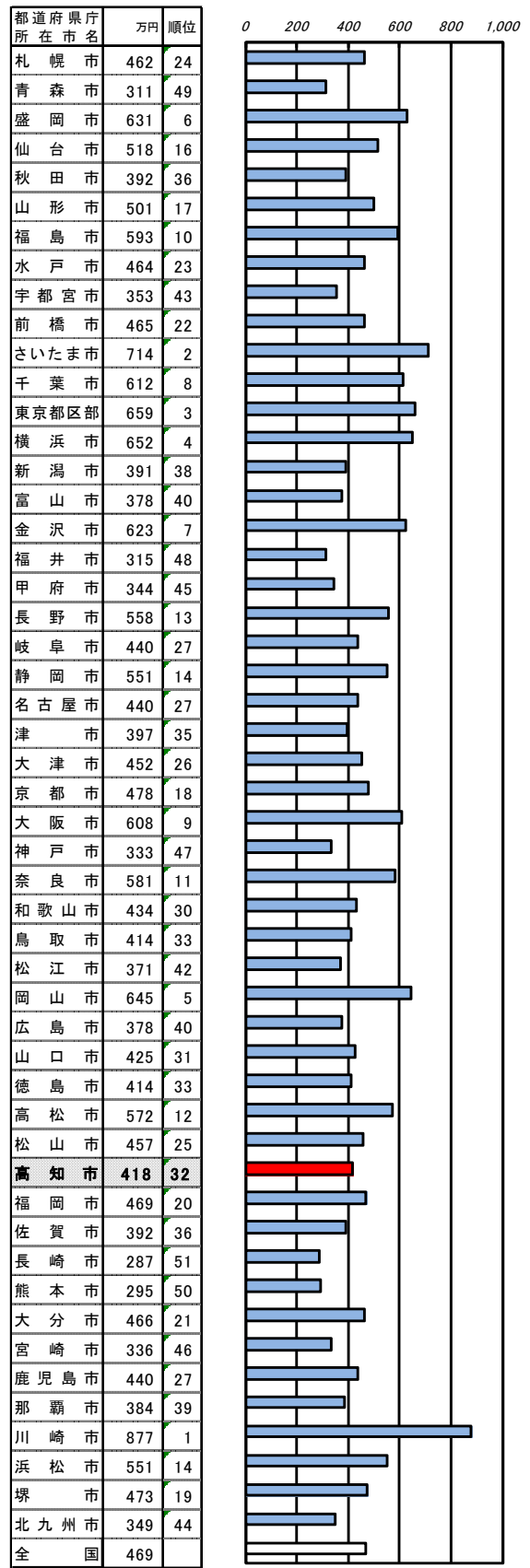


平成24年平均 貯蓄・負債現在高の状況(二人以上世帯)

貯蓄現在高(1世帯当たり)



負債現在高(1世帯当たり)



※都道府県庁所在市(47市区)と川崎市・浜松市・堺市・北九州市をあわせた51市区での順位